

## 令和3年度 第2回石岡市総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和4年2月18日(金) 午前10時

2 開催場所 八郷総合支所4階 401・402会議室

3 開会・閉会 午前10時開会・午前11時50分閉会

### 4 出席者

石岡市長		谷島 洋司
石岡市教育委員会 教育長		児島 裕治
教育長職務代理者		井坂 まち子
委員		柏木 陽子
委員		真家 隆史
委員		平方 亜弥子

### 5 出席した職員

石岡市教育委員会 教育部長		豊崎 康弘
教育次長		吉澤 房江
参事学校再編担当兼学校教育担当		朝賀 隆行
参事兼生涯学習課長		宮部 善仁
教育総務課長兼学校再編担当		小沼 努
教育総務課副参事学校再編推進室長		小河原 修
教育総務課指導室長兼学校再編担当		須加野 征博
文化振興課長		原田 和宣
中央公民館長		吉田 昌司
スポーツ振興課長		小沼 欽也
学校給食課長		小川 崇晴

### 6 会議次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 石岡市教育大綱及び推進計画の策定について
  - (2) 教職員の働き方改革について
  - (3) その他
- 4 閉会

## 7 議事録（議事の趣旨）

### 1 開会（教育部長）

### 2 市長あいさつ（谷島市長）

### 3 議題

#### （1）石岡市教育大綱及び推進計画の策定について

（教育総務課長）

【石岡市教育大綱（案）、教育推進計画（案）、及び今後のスケジュール（案）説明】

（井坂職務代理者）

推進計画において、豊かな心を育む教育に筑波山地域ジオパークが追記されたが、石岡市ではジオサイトに多数、指定されており、学校教育に取り込んでいくためにも大事なことだと思う。現在、ふるさと学習テキストが改訂中だと聞いているが、さらなる反映を考えているのか。

（指導室長）

ふるさと学習テキストには一部記載を加える形で進めているほか、学校において取り入れていくために筑波山地域ジオパーク推進協議会と連携を図り、出前授業を依頼するなど学校教育を進めていきたい。

（真家委員）

情報教育の充実が新規事業として追加された。大変重要な事だと思う。技術進歩と共に、機械により青少年に悪影響を与える情報も得られるようになってしまった。その重要さから、「充実」という言葉よりももう少し踏み込んだ表現が望ましいのではないかと。

（指導室長）

今年度、学校におけるいじめの内容はパソコンや携帯電話での誹謗中傷が小学校で5件、中学校で6件挙がっている等、ご指摘のとおり重要さが増している事業なので、表現については検討していきたい。

(柏木委員)

感想として、カーボンニュートラルや科学や環境教育の充実が新たに加筆されたことについて、SDGsでも地球の未来を大切に、結果自分たちも大切にすることに繋がると考えられており、とても良いと感じた。

(井坂職務代理者)

環境教育を通じカーボンニュートラルを推進していくことについて、学校や家庭でどのように取り組んでいくのか、具体的な内容があれば伺いたい。

(指導室長)

観察、実験、探究活動、または自然体験等を通じ、また、専門機関との連携を図り授業に取り組めるよう進めたいと考えている。

(市長)

教育大綱は市の総合計画と同じ方向性で進めていくことは前段で述べてきたが、石岡市としてカーボンニュートラルに取り組んでいきたい。例としては、霞台厚生施設で、ごみを焼却してそれを電力に変えている。地域で電力を生み、地域で使用する。電力の地産地消という考え方である。

また、石岡市には森林組合があり、バイオマス燃料の活用等の可能性を秘めた地域だと考えており、この地域資源をどのように使用し、いかに地球環境に優しいまちづくりをしていくかという方向性を令和4年度にゼロカーボンシティ宣言という方針を掲げ、計画し、取り組んでいきたい。

子供たちにも市がどのように取り組んでいるのか、また、支援があるのかを伝えながら、まちづくりを進めたいので、学校教育の中でもカーボンニュートラルという考え方を広めてほしい。

(教育部長)

現在、小学校の統合再編が進められており、令和6年度、高浜、三村、関川、南小学校が、現在の南小学校の位置で統合を予定しており、大規模な改修工事を令和4年、5年で計画している。大規模な改修工事では学校に太陽光パネルの設置を予定しており、省エネについてのPRという面からも行っていきたい。

市内の小中学校すべてに取り入れたいが、学校の屋根にかかる負荷が大きく、既存のままでは困難であるため、大規模改修等を実施する際に取り入れていきたい。

(市長)

部長の方から話があったが、大規模改修やこれから学校を作っていくときにも、カーボンニュートラルという考えに沿った学校のあり方をハード的にも取り組んでいきたい。

(教育長)

時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の中で、科学という表現は、科学技術という表現とした方が良い。また、環境教育の充実が前後で重複してしまっているので、SDGsの実践としての省エネ教育等という表現に変更してはどうか。

いずれにしても、この持続可能なライフスタイルや気候変動に関する教育というのは教育プログラムも同時に考えていきたい。

(平方委員)

カーボンニュートラルについて、学校教育を行った後に家庭がどう寄与できるかということを考えられると良いと思う。

ごみ焼却場の例があったが、ごみの水分が減ることで発電量が増加することに繋がるため、各家庭の生ごみを出す方法が直結する。この意識について、子供発信となると家庭でも取り入れ社会が動いていきやすいのではないかと。この考え方は、コミュニティスクールの推進とも関連するのではないかと。地域が抱える課題について学校、子供発信となると課題解決が促進するのではないかと。

次に質問として、検討という言葉の表現をそれぞれ変更した部分について、具体的な説明をいただきたい。

(生涯学習課長)

社会教育施設の充実の部分の検討を見直しに変えた点について回答する。良い方向に向かって考え方を根本的から考え直す、方向性を新たに決めるという意味で見直しに変更した。

(市長)

勤労青少年ホームを例にとると、勤労青少年のためという目的、機能が変わってしまっていることを見直し、龍神の森キャンプ場も社会教育上あまり使われてなくて、個人ユーザー

が多く、観光ニーズが増加していることから運営方針を見直す、変えていくという意味となっている。

#### (スポーツ振興課長)

スポーツ環境の充実では、学校施設の一般開放促進と管理運営方法の検討を整理と直したが、これは、現在、学校の一般開放に関しては、教員の協力、負担が大きいため、働き方改革の点からスポーツ振興課の職員が関わりを増やす等の整理を行いたい。

八郷総合運動公園の整備とプールのその後利活用の検討について。八郷総合運動公園の屋外プール、石岡小の屋内プールが対象となるが、その棲み分け、利活用を整理していきたい。

八郷運動公園プールにつきましては、大規模な修繕が必要であり推進という言葉に変更した。また、簡易運動広場の利用促進と、今後の方向性の検討をまた整理、見直しの点では、簡易運動広場について、利用頻度が低く、さらに借地となっていることから集約、整理を進めていきたい。

次に、恋瀬川サイクリングコースの充実と、筑波霞ヶ浦りんりんロードへの接続などによる、広域連携化の検討を広域連携化について調整に直させていただきました。この事業を進めていくためには、政策企画課や観光課等、部局横断的な調整が重要であることから変更した。最後に、生涯スポーツの推進における、石岡つくばねマラソンの開催及びハーフマラソン大会の実施検討について。開催するものとして事業を進めていることから推進と変更した。

#### (文化振興課長)

14 ページの、設置の検討を改めた考え方について。道路などを作る場合に、縄文時代、弥生時代の遺物が出土し、現在は主に文化財管理センターで保管しているが、ふるさと歴史館や農村資料室での展示にも利用しているが、石岡市には大きな博物館がないため、今後、小中学校の統合再編により使用されなくなる空き校舎の利用を検討してきた。

しかしながら、空き校舎の利用には博物館だけではなく地域のコミュニティ等も含めるべきではないかという考え方もあり、その整理をしていくという意味合いから表現の変更を行った。

#### (平方委員)

教育大綱や推進計画だけでは読み取れないため、そういった内容を策定と共に情報発信して欲しい。また、スケジュールにおいて8月から進めはじめたような表現となっているが、それ以前も策定のために何か進めてきたのではないか。

(教育総務課長)

教育大綱(案)及び推進計画(案)の作成については、毎年度、継続的に進捗状況の確認、事業の追加等について課長レベルで話し合いをしており、その話し合いを踏まえて素案の作成を8月から行っている。

(平方委員)

12月24日から1月21日までパブリックコメントを行っているとのことだが、どのぐらい提出があったのか。

(教育総務課長)

1ヶ月程度のパブリックコメントを行ったが、残念ながらその期間中にご意見、提出はいただけなかった。期間や情報発信の方法等、反省材料としたい。

(平方委員)

様々な事の根底には教育があり、市民が自ら関わっていくことが大事だと思う。

方法の1つとしてパブリックコメントを行ったようだが、総合計画での方法論を参考に、市民との対話の場を持ち、市民が自ら未来の石岡を創る教育に関われるようにして欲しい。

(真家委員)

生涯学習の推進について、先進自治体にコミュニティスクールの視察に行かれたとのことですが、設置に向けてどのようなことが必要だと感じたか伺う。

(生涯学習課長)

コミュニティスクールについて牛久市に視察に行き情報を伺ったが、各自治体により状況の差異があり、石岡市に合った準備を行いスタートすることが非常に重要であると感じた。

石岡市としての手順を決めるにあたり、十分な情報収集と、関係者からの意見等も重要であり、先日、オンラインで学校との対話の場を設けた。

今後、コミュニティスクールを進める中で教育委員会において方向性を定め、市長はじめ、市長部局とも調整をしながら進めていく。

(真家委員)

市民の方からコミュニティスクールについて伺い、協力したいとの連絡を受けている。設置には市民の協力が必要であるため、早くどのような手順、方向性で進めるのか情報発信をして欲しい。

(市長)

コミュニティスクールの考え方としては、子供たちを学校だけではなく地域で支える、先生方だけではなく地域の様々な知見、或いは地域の伝統、様々な地域資源を学校教育に取り入れていきたい。

コミュニティスクールは石岡市としてやっていきたいと考えており、例えば新たなコミュニティとなる統合校（例：高浜小、三村小、関川小、南小）が一つのコミュニティになることから、統合校について各地域の合わせた学校だという意識を持ってもらうためにも運営の方法として取り入れていきたい。

(真家委員)

学校施設の統合再編に伴う通学区域再編事業の推進について、どのようなことを指しているのか。

(学校再編推進室長)

統合再編により学校区を変更する場合には、協議検討が必要になってくるため、統合再編を推進するとともに学区についての協議も推進していくという意味となる。

(柏木委員)

児童生徒の安全確保について。通学路の部分ですが、学校において交通安全教室とか通学路マップを作って危ない場所の周知、PTAでも交通安全母の会などの活動をしているが、数ヶ月通以内に、石岡で、車と歩行者の死亡事故が2件程度発生している。

また、横断歩道で止まる車がほとんどなく、茨城ダッシュなどの良くないマナーがあり、死亡事故などがあって心配だが、大人である私たちのマナーが重要で、学校だけではなく警察と連携して、石岡は安全なマナーの良い市だというキャンペーン等を行うべきだと考えている。

(学校再編推進室長)

石岡市では石岡警察署、県の土木事務所から、PTA連絡協議会、各校長会、民間の交通指

導員協議会、コミュニティ推進課や道路建設課等からなる交通安全推進会議を設置し、通学路の安全、交通安全プログラムの推進を行っているが、いただいたご意見、キャンペーンなども報告し、活かしていきたい。

(市長)

学校教育だけではなくまちづくりであり、道路や歩道をどう作っていくかという道路建設の視点、或いは警察との連携による交通安全の視点について、オール石岡市として取り組むべきだと考える。

(政策企画課長)

総合計画の中では交通安全の推進のため、横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合に停止する市民の割合について、意識調査を行っている。

今後10年にわたり調査を行い、意識の高まりについて指標として検討していきたい。

(教育部長)

登校の児童の死亡事故を受け、国では交通安全プログラムにおいて学校の危険箇所を点検して整備するよう方向性が打ち出され、本市でも危険箇所が多数確認されている。

歩道やガードレールが設置できれば良いが、全てを改修することはできず、看板や道路への舗装により注意喚起し対応している。

横断歩道歩行者へのマナーについて、長野県が85%、2位が静岡県で63%。全国平均は30%。茨城県は、下から6番目の19.4%となっています。

(平方委員)

石岡マナー良いところキャンペーンに賛成。

また、中学校の自転車通学者についてサイクリング道と合わせて、うまく整備できたらいい。子供が、手を挙げて車の方が止まったら、渡った後にもものすごく深々と礼をするのを見て、そういうところから、ドライバーに止まるという感覚が広がるといいと思う。

(井坂委員)

生涯学習の推進の図書館機能の充実について。郷の本棚やさ図書館がオープン間近となり楽しみにしている。そこで、図書館の開館時間等について伺う。



(生涯学習課長)

郷の本棚やさと図書館の開館日は火曜日から日曜日までで、時間は朝 9 時から午後 5 時まで、水曜日は、庁舎の方も窓口延長に合わせ午後 7 時まで開館する。月曜日と年末年始、また、図書の整理期間において休館となる。

(井坂委員)

中央図書館では、ボランティアによる読み聞かせがいくつか存在しているが、中央公民館図書室では一つだったと思う。移転に合せ利活用の促進の観点から増やしていけないか。

(生涯学習課)

現在、来年の事業内容について生涯学習課内で調査検討を進め、14 事業の実施を目指している。当初は市が主体となってスタートすると思うが、ボランティアの拡大を進めていきたい。

(井坂委員)

ぜひボランティアによる読み聞かせなどが広まり、八郷地区のお子さんやご家庭で素晴らしい図書館を利用できるようになればいいと思う。

(生涯学習課長)

郷の本棚やさと図書館では読み聞かせ専用スペースを設け、土足禁止の場所で寝っ転がりながら聴けるようになっている。そこで読み聞かせができたり紙芝居を用いたり、遊べるような環境のスペースを作っている。

(平方委員)

図書館について。学校図書館との連携強化について、現在の連携状況を伺う。

(生涯学習課長)

現在、学校との連携として、学校から児童生徒の読みたい本があれば、図書館等で用意できるようにしている。連携強化の方法としては、本に対する番号を一括管理し、学校側とオンラインで結んでいければと考えている。

(平方委員)

ご説明の連携ができると良いと考えていた。連携強化に期待する。また、読み聞かせについ

て。石岡市では公民館で朗読の講座を行っている。筑波のフリーアナウンサーの方が講師をしている。その講座に来た方たちに読み聞かせをする案内をするなど、図書館と公民館事業とが接続していき、市民の活躍する場が広がると良い。

(生涯学習課長)

図書館と学校、公民館の連携について、意見を参考にしながら運営体制を構築していく。

(柏木委員)

生涯スポーツの充実、1番のスポーツ環境の充実について。簡易運動広場の利用促進とあるが、今後の方向性として簡易運動広場の整理を考えているのは、小井戸のほかにあるのか伺いたい。

(スポーツ振興課長)

簡易運動広場は、小井戸、染谷球場、杉並運動広場であるが、利用状況が極端に少ないのが小井戸であり整理を予定しており、染谷や杉並についてはまだ未定である。

(柏木委員)

小井戸は遠く、鍵の貸し借りが管理をしているのが柏原運動公園であり使用しづらい。

(市長)

市の施設には借地もありこの先ずっと使っていくために借地を継続すべきかは考えたい。

運営するだけのニーズがあるのか、或いは遊休地もあり、学校も統合した場合には空いていく、そこには運動施設もある。今後、様々な公共施設が入れ替わる可能性もある。

また、染谷球場については、風土記の丘、龍神の森、それから龍神山ハイキングコースと付帯エリアになっているがそれぞれ管理する部署が異なっている。(例:龍神の森や生涯学習課、風土記の丘は観光課、龍神山ハイキングコースは、農政課、スポーツ振興課は野球場、茅葺は観光課、展示室は文化振興課。)風土記の丘エリアについては全庁的な利用方法を検討していきたい。

(井坂委員)

石岡地区、特に八郷地区は自然が豊かで見どころがあるが、自家用車を利用した際、駐車場とトイレが整備されておらず課題であるため、整備すべきではないか。

(市長)

石岡市では朝日里山や龍神山では整備されているが、入口の施設の整備が進んでいない。学校空地の利活用を含め、最低限、駐車場やトイレ等の整備に取り組みたい。

(政策企画課長)

観光振興,特にサイクリングにおいて,つくば霞ヶ浦りんりんロードを軸に走っていた方が,八郷にヒルクライムに来るようになったが,走行距離は限度がり,朝日里山学やゆりの郷の一日駐車する等,影響が出ている。

そのためビジターセンター,或いはネイチャーセンターを整備し,トイレと駐車場,観光振興のため目的に教育の分野を加えたような構想が必要だと考えており,取り組んでいくべき重要課題だと考えている。

(平方委員)

人の動きが自然の中に向かっていて,自然から学べる石岡市は強みを持っていると感じているが,一方,宿泊施設の整備が為されていない。直火が起こせる体験ができる環境でキャンプができる環境,自然体験,自然から学べることを接続していくべきであると考えている。

(市長)

施設の有効活用も含め,デジタル化した架空社会ではなく,リアルな社会の中で,経験できる環境が石岡市では可能であり,ぜひ取り組んでいきたい。

(政策企画課長)

今回総合計画を作るに当たり,八郷留学に取り組んでいる若者と話すことができた。その中で,火育,火から学ぶ教育についての考えがあり,行政と結びつけていければと感じた。

(教育部長)

そのほかの意見がないようなので,示したスケジュールに則り,また,いただいたご意見等を盛り込みながら,石岡市教育大綱及び推進計画の策定を進めていく。

続いて,教職員の働き方改革を議題とする。

(2) 教職員の働き方改革

(指導室長)

【教職員の働き方改革について説明。】

(柏木委員)

給食費の公会計化により教職員の負担が軽減されると考えるが、デメリットはあるか。

(学校給食課長)

デメリットとしては市が徴収を行った際に未納者への対応が挙げられるが、学校との協力により対応していきたい。教職員の働き方改革として進めていくべきであると考えている。

(平方委員)

部活動の指導員の配置数について、令和2年度と3年度は予定で8名であり、実際は6名となっているが、その理由を伺いたい。

(指導室長)

各学校で募集し、依頼していく中で、最終的に引き受けていただくことができない事例がある。部活動指導員という形ではなく外部指導者という形での協力はいただいているが、指導規定の条件に合わなかったことが理由である。

(平方委員)

部活動全体を把握する顧問と外部指導者という仕組みがあるということだが、生徒から新たな部活動を設置したいという意見があった場合、顧問を探してくれるということなのか。

(指導室長)

学校ごとに部活動の種類は概ね決まっている。今後さらに減らし、令和10年度までに、土日教職員が部活動指導をすることをなくし、地域に移行できるように進めていく。

(平方委員)

生徒の希望がかなえられる仕組みがあると良いと感じる。

(真家委員)

現状考察を行うのは大変な作業だったと思う。どのような作業を行ったのか。

(指導室長)

現状、教職員は教材研究や子供達と関わる時間が多く、部活動が理由となり中学校が小学校を上回る業務時間となっている。そのような状況を確認し、今後も対策を考えていきたい。

(真家委員)

国や県の指導、指導要領に則った方法が必要な中で、自治体によっては休暇の取り方を変えている自治体もあるようだが、どのようなメリットやデメリット等はあるのか。

(指導室長)

例として、夏休みを短くし授業時数を確保する方法では通常日の5時間授業を増やすことができるのはメリットである。今後、他の市町村の取り組みも検討しながら進めていく。

(柏木委員)

教員の志願者倍率が令和3年に比べ令和4年の方が増えているとの報道があった。令和3年は小学校で2.06倍、令和4年は2.32倍、中学校では令和3年、2.71倍、令和4年、3.71倍となっていた。働き方改革を含め、魅力ある職場だということをアピールし、今後も増加していくように出来たら良いと思う。

(参事学校再編担当)

教員の志願者は全国的に減少傾向がある。茨城県では今年度採用試験の時期を変更したことにより若干増加がみられた。

教員の激務について報道等でも情報発信があり教員に対する魅力の減少が感じられるため、茨城県では中高生を対象に、教員経験や研修の機会等の取り組みを始めている。

教員の勤務時間内において子供たちが中心であり、下校後、事務作業ができる時間となるため、時間的な工夫により、教員が、子供たちに関わる時間を確保しながら、事務作業が可能となるよう、取り組みを進めている。

(平方委員)

教師志願者数の減少や苦労は伺っている。教師がどうしたら子供達と楽しく過ごせるかを伺いたい。

(井坂委員)

教員をしていた経験では、学期末、年度末は非常に忙しく、給食費未納者への連絡等も大変で、公会計化を行う上でも大きな課題となると思う。

(次長)

給食費公会計化のデメリットについて。顔を見知った学校の教員が徴収することで徴収率が保てている現状があり、市の担当者が業務を行うことで徴収率が下がる可能性がある。

給食費は私債権であるため差し押さえ等も行えず課題となる。

(市長)

税金等の公債権については収納対策課で未納分の対応を行っているが、給食費、水道代や市営住宅の家賃等の私債権は担当課で対応をしている。給食費の公会計化により条例の制定を検討し、ルールを定めていく。

(教育長)

教職員の働き方改革に目的があり、一つは教員自らが授業を磨いていくことであり、子供に質の高い教育を提供すること。

もうひとつは教員自身が、人間性、創造性を高めていくことが目的となっている。教職員が日々の生活の質を上げ、子供に対して、効果的な教育活動を行うこと。これが一番の目的となっている。

そのため、教職員の働き方改革を進める上では子供が置き去りになっていけない。

今日、提案する3つの提案のように、必ずしも教員がやらなければならない業務については、切り離し、できるだけ子供に向き合える時間を確保することが大事であり、なぜ、今、働き方改革を進めていくのかを保護者や多くの方々に周知することが必要であると思う。

(市長)

最後に。観光、環境の教育、交通安全教育や情報化教育の話の中で、子供から始めることで家庭での理解が進むという話があった。石岡の将来、未来は子供たちが育ち、変わっていくことで、石岡市の未来が変わり、良くなっていくと考えている。

ぜひ、地域で学校教育や子供たちを支えていく、そういう環境が作れるよう今後もお力をお貸しいただきたい。

(教育部長)

以上で、第2回総合教育会議を閉会させていただきます。

4 閉会